

平成28年度 第2回 国立市文化財保護審議会 議事録要旨

1. 日 時 平成28年8月26日(金)
午後3時00分から5時20分
2. 場 所 国立市役所 3階 教育委員会室
3. 出席者 白井委員、和田委員、馬場委員、佐伯(安)委員、
佐伯(元)委員、玉蟲委員、長田委員
[事務局] 津田課長、井田係長、
玉城囑託員、井坂囑託員、山口囑託員
[建築営繕課] 近藤主査
[国立駅周辺整備課] 松平係長

4. 内 容

【議題】

(1) 前回審議会議事録について

前回審議回議事録の説明をし、確認された。

(2) 国立市文化財保護審議会の運営について

審議会については原則公開とし、個人情報に関わる審議の際などは、例外的に非公開とし、議事録の公開については、要旨をホームページで公開することで確認された。

(3) 平成28年度市指定・登録文化財候補について

事務局より、前回登録候補案とした「本田家所蔵陣羽織」、「本田家所蔵十三代将軍徳川家定拝領足袋」については、証拠の確認や専門家による調査の必要性を理由に取り下げることとした。引き続き「本田家所蔵篆刻印(主屋内)」を、また新たに「円城院跡」を登録文化財候補として議論した。

「本田家所蔵篆刻印(主屋内)」について

専門家による概要調査も入り、全国的にも類例が少なく貴重な資料と評価できる。今後は、製作年、作刀者、判別の根拠など、目録への掲載事項を再度検証し、次回審議会での議論へつなぐこととした。また、登録候補ではなく、指定候補としても良いのではという意見もあった。

円城院跡について

非常に重要な遺跡であると評価できるが、対象となる史跡の明確な範囲や所有者意向などの確認を進め、引き続き、次回審議していくこととした。

(4) 旧国立駅舎再築事業について

工事の進捗状況について

建築営繕課より、部材調査がほぼ終了し、現在結果を分析中であること等、事業の進捗状況と今後の予定について説明があった。また、地盤調査も完了し、大きな沈下、液状化の発生はない旨、報告があった。さらに、利活用において、幹事会を立ち上げ検討し、トイレの位置などの詳細について、アドバイザーの白井委員との協議を重ね、進めている。

白井委員より、部材調査の結果とプリンス所蔵の詳細図面との照合により、復元に向け骨格が見えてきたことが大きな成果との報告があった。

旧国立駅舎用地の状況について

国立駅周辺整備課より、平成28年6月13日、土地収用法に伴う事業認定申請書を東京都に提出し、8月16日付けで事業認定書を正式に取得し、公共の事業として認められた事の報告があった。